〈ＴＡＣ〉無断複写・複製を禁じます。

令和8年 二級建築士設計製図 課題4 問題用紙

設 計 課 題 「商店街に建つ併用住宅(木造３階建て)」

1. 設計条件

ある地方都市の歴史的観光地における商店街に、地域文化交流を図ることのできる店舗併用住宅を計画する。

計画に当たっては、次の①～④に特に留意する。

①店舗用出入口、店舗運営スタッフ用の出入口(以下、通用口)、住宅玄関はそれぞれ独立して設ける。ただし、通用口及び住宅玄関へのアプローチは兼用してもよい。

②屋外にイベント広場を計画し、店舗用出入口へのアプローチと兼用してもよい。

③店舗部分と住宅部分とは、屋内の１階及び２階部分で行き来できるようにする。

④建築物の耐震性に配慮する。

(1) 敷 地

ア．形状、道路との関係、方位等は、右下に示す敷地図のとおりである。

イ．近隣商業地域内にあり、準防火地域に指定されている。

ウ．建蔽率の限度は80%、容積率の限度は200%である。

エ．地形は平坦で、道路及び隣地との高低差はなく、地盤は良好である。

オ．電気、都市ガス、上水道及び公共下水道は完備している。

(2) 構造、階数、建築物の高さ等

ア．木造３階建てとする。

イ．建築物の最高の高さは12m以下、かつ、軒の高さは10m以下とする。

ウ．耐力壁(筋かい等を設けた構造上有効な壁)は、必要な量をバランスよく配置する。

(3) 延べ面積等

ア．延べ面積は、「250㎡以上、300㎡以下」とする。

イ．ピロティ、玄関ポーチ、屋外スロープ、駐輪スペース等は、床面積に算入しないものとする。

(4) 人員構成等

居住者：オーナー家族３名：夫婦(50歳代)、子ども１名(高校生)

運営スタッフ：２名

(5) 要求室等

下表の全ての室等は、指定された設置階に計画する。

部門	設置階	室名等	特記事項
店舗	1階	カフェ	ア．床面積は33㎡以上とする。その他に展示コーナー(６㎡以上)を計画し、展示棚を設ける。 イ．外部と直接行き来できる出入口(計２ヶ所)を設け、南北方向に通り抜けができるようにする。 ウ．床は土間コンクリート仕上げとする。 エ．テーブル及び椅子(計12席以上)、カウンター及び椅子(計４席以上)、棚(400㎜×800㎜以上)を４つ設ける。 オ．上部に吹抜けを設ける(13㎡以上)
		便所(1)	ア．来客が使用する。 イ．男女別に設ける。
		前室	ア．厨房に隣接させ、外部と直接行き来できる通用口を設ける。 イ．食品庫、手洗い器を設ける。
		事務室	ア．受付カウンターを設ける イ．机及び椅子(計２席)を設ける。
		厨房	・レジカウンターを設け、カフェに軽食を提供できるようにする。
		洗面コーナー	・従業員が使用する。
		便所(2)	・従業員が使用する。
	2階	地域交流・体験室	ア．床面積は13㎡以上とし、その他に収納(計２つ)を設ける。 イ．テーブル及び椅子(計８席以上)、ホワイトボードを設ける。
		休憩コーナー	ア．吹抜けに近接させる。 イ．テーブル及びソファー(計５席以上)を設ける。
		洗面室	・洗面台を２つ設ける。
		便所(3)	ア．来客が使用する。 イ．男女別に設ける。
住宅	1階	玄関	・式台を設ける。
		シューズクローク	・靴を保管するための棚(奥行300㎜以上)を設ける。
	2階	予備室	・床面積は13㎡以上とし、テーブル及び椅子(計４席)、テーブル及びソファー(計４席)、棚(300㎜×1,200㎜以上)を２つ設ける。
		納戸	・３㎡以上とする。
	3階	居間・食事室・台所	ア．１室又は２室にまとめてもよい。 イ．収納棚(800㎜×300㎜以上)を２つ設ける。 ウ．居間にはソファー(計６席)、食事室にはテーブル及び椅子(計４席)を設ける。
		夫婦寝室	ア．洋室16㎡以上とし、その他に書斎及び収納を設ける。 イ．ベッド(計２台)、ナイトテーブル、テーブル及び椅子(計２席)を設ける。
		子ども室	ア．洋室９㎡以上とし、その他に収納を設ける。 イ．ベッド、机及び椅子を設ける。
		浴室	
		洗面脱衣室	
		洗面室	・コーナーとしてもよい
		便所(4)	

(注１)各要求室等において、床面積・広さの指定がない場合、床面積は適宜とする。

(注２)住宅部分の竪穴部分(階段、エレベーターシャフト及び吹抜け)は所定の防火設備を用いて区画する。また、外壁の開口部で延焼のおそれのある部分には所定の防火設備を設ける。なお、この建築物は、「避難上の安全の検証」を行わないものとする。

(6) 階段及びエレベーター

ア．店舗部分には、１階から２階まで通ずる直通階段を設ける。

イ．住宅部分には、１階から３階まで通ずる直通階段を設ける。安全を確保するために、蹴上げの寸法を180㎜以下、踏面の寸法を225㎜以上とする。

ウ．屋内に住宅用エレベーターを１基設ける。エレベーターシャフトは、心々1,820㎜×1,820㎜以上とし、機械室等は設けなくてよい。出入口の幅は、内法800㎜以上とする。

(7) 屋外施設等

屋外に下表のものを計画する。

イベント広場	ア．地域の祭事にも使用できるようにする。 イ．少なくとも直径２m以上の円が２つ入るスペースとする。
屋外スロープ	・住宅玄関への計画において高低差が生じる場合は、屋外スロープ(勾配は１/15以下)を設ける。
駐輪スペース	・14台分(店舗用８台分(分けてもよい)、従業員用３台分、住宅用３台分)を設ける。
門・塀・植栽等	

2. 要求図書

a．答案用紙の定められた枠内に、下表の要求図書を記入する。(寸法線は、枠外にはみだして記入してもよい。)

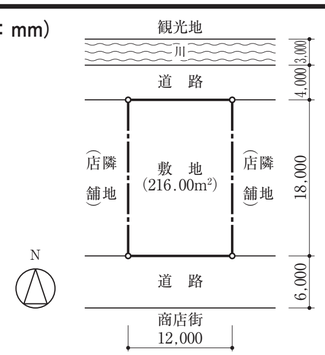
b．図面は黒鉛筆仕上げとする。(定規を用いなくてもよい。)

c．記入寸法の単位は、㎜とする。なお、答案用紙の１目盛は、4.55㎜(部分詳細図(断面)にあっては、10㎜)である。

d．シックハウス対策のための機械換気設備等は、記入しなくてよい。

要求図書( )内は縮尺	特記事項
(1)１階平面図兼配置図(1/100) (2)２階平面図(1/100) (3)３階平面図(1/100)	ア．１階平面図兼配置図には、２階平面図及び３階平面図には、次のものを記入する。 ・建築物の主要な寸法 ・室名等 ・吹抜けの範囲(１階平面図には破線、２階平面図には一点鎖線でその範囲を明記する。) ・「通し柱」を○印で囲み、「耐力壁」には△印を付ける。 ・延焼のおそれのある部分の範囲(延焼ラインを破線にて明記し、そこから敷地境界線までの距離を記入) ・防火設備が必要な部分に㊍と明記 イ．１階平面図兼配置図には、次のものを記入する。 ・敷地境界線と建築物との距離 ・道路から建築物へのアプローチ、イベント広場、屋外スロープ、駐輪スペース、門、塀、植栽等 ・道路から敷地及び建築物の出入口には、▲印を付ける。 ・玄関ポーチ、玄関の土間部分、玄関ホール(廊下)、カフェの地盤面からの高さ ・玄関…式台 ・シューズクローク…棚 ・カフェ…テーブル、カウンター、椅子、棚及び展示コーナー(展示棚) ・便所(1)…洋式便器及び手洗器 ・前室…食品庫及び手洗い器 ・事務室…受付カウンター、机及び椅子 ・厨房…台所設備機器(流し台、調理台、コンロ台、冷蔵庫等)及び手洗い器 ・洗面コーナー…手洗い器 ・便所(2)…洋式便器 ・イベント広場…直径２m以上の円を破線で明記 ウ．２階平面図には、次のものを記入する。 ・地域交流・体験室…テーブル、椅子、収納及びホワイトボード ・予備室…テーブル、椅子、ソファー及び棚 ・休憩コーナー…ソファー及びテーブル ・洗面室…洗面台 ・便所(3)…洋式便器及び手洗器 ・部分詳細図(断面)の切断位置及び方向 エ．３階平面図には、次のものを記入する。 ・居間・食事室・台所…ソファー、テーブル、椅子、棚及び台所設備機器(流し台、調理台、コンロ台、冷蔵庫等) ・夫婦寝室…ベッド、ナイトテーブル、テーブル、椅子、書斎及び収納 ・子ども室…ベッド、机、椅子及び収納 ・浴室…浴槽 ・洗面脱衣室…洗面台及び洗濯乾燥機 ・便所(4)…洋式便器 ・洗面室…洗面台
(4)２階床伏図兼１階小屋伏図(1/100)	ア．主要部材(通し柱、１階及び２階の管柱、胴差、２階床梁、桁、小屋梁、火打梁、棟木、母屋、小屋束など必要なもの)については、凡例の表示記号にしたがって記入し、断面寸法(小屋束を除く。)を凡例欄に記入する。ただし、主要部材のうち、平角材又は丸太材としたものについては、その断面寸法を図面上に記入する。なお、根太及び垂木については、記入しなくてよい。 イ．火打梁の代わりに、構造用面材による床組とする場合には、胴差、床梁、桁を記入したうえで構造用合板の厚さ、釘の種類・打ち付け間隔を明記する。 ウ．その他必要に応じて用いた表示記号は、凡例欄に明記する。 エ．建築物の主要な寸法を記入する。
(5)立面図(1/100)	ア．東側立面図とする。 イ．建築物の最高の高さを記入する。
(6)部分詳細図(断面)(1/20)	ア．切断位置は、外壁を含む部分とする。 イ．作図の範囲は、胴差部分(１階の天井仕上げ面から下方200㎜以上及び２階の仕上げ面からの高さ200㎜以上を含む部分)とし、外壁の柱心から1,000㎜以上とする。 ウ．主要部の寸法等を記入する。 エ．主要部材(胴差、２階床梁、２階根太など必要なもの)の名称・断面寸法を記入する。 オ．羽子板ボルト等の金物等の名称・寸法を記入する。 カ．外壁、その他必要と思われる部分の断熱・防湿処置を記入する。 キ．主要な部位(外壁、内壁、１階天井及び２階床)の仕上げ材料名を記入する。 ク．外壁の仕上げについては、乾式工法によるものとする。
(7)面積表	ア．建築面積、床面積及び延べ面積を記入する。 イ．建築面積及び床面積については、計算式も記入する。 ウ．面積の数値は、小数点以下第２位までとし、第３位以下は切り捨てる。
(8)計画の要点等	・建築物等の計画に関する次の①～③について、具体的に記述する。 ①店舗部分の計画について、工夫した点(外構計画含む) ②住宅部分の計画について、工夫した点 ③建築物の環境負荷低減について、工夫した点

敷地図(縮尺：1/500、単位：mm)

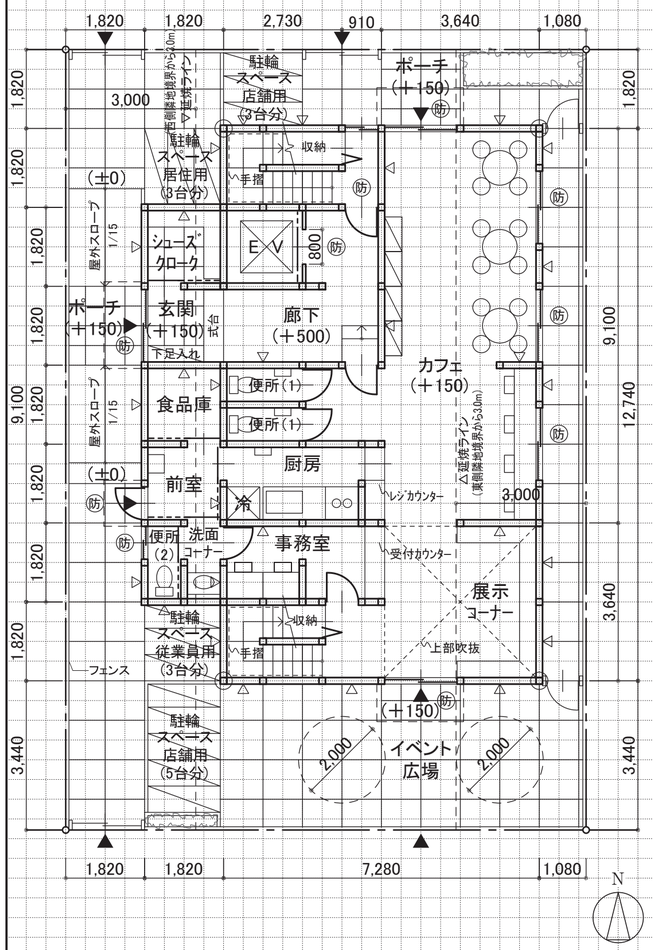


会員番号	
氏名	
校名	

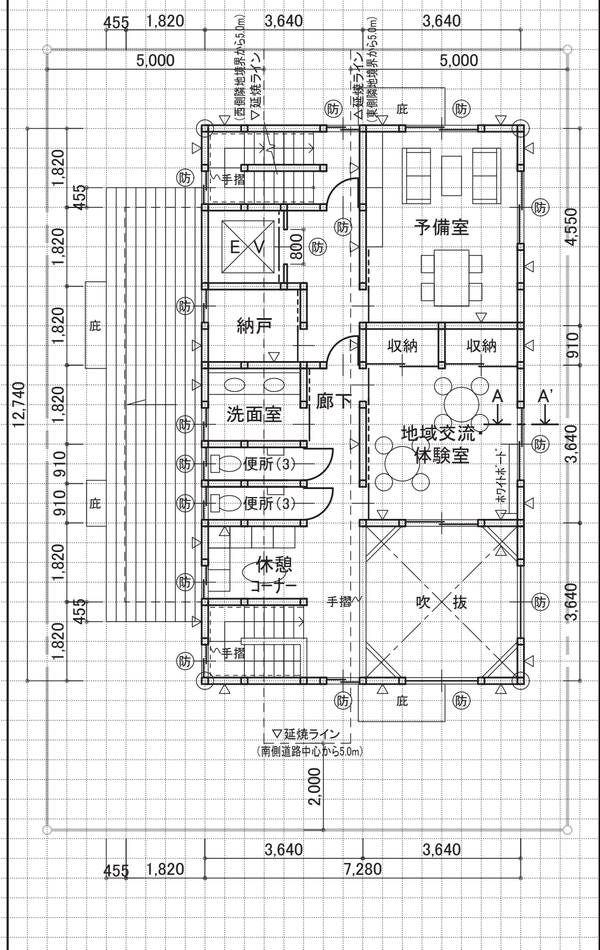
下書欄 (目盛4.55mm)

令和8年 二級建築士設計製図 課題4 答案例

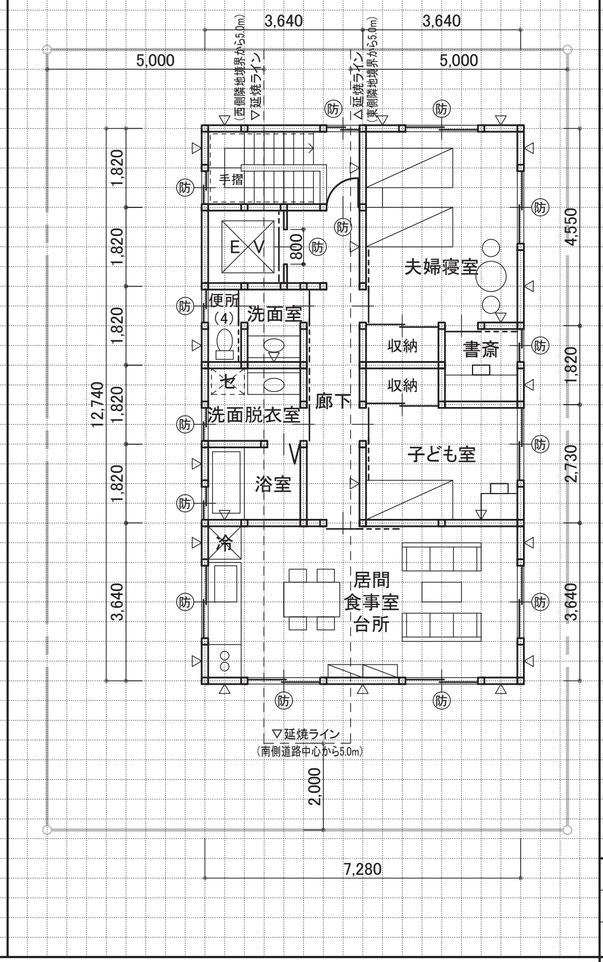
1階平面図兼配置図　縮尺 1／100 （目盛4.55mm）



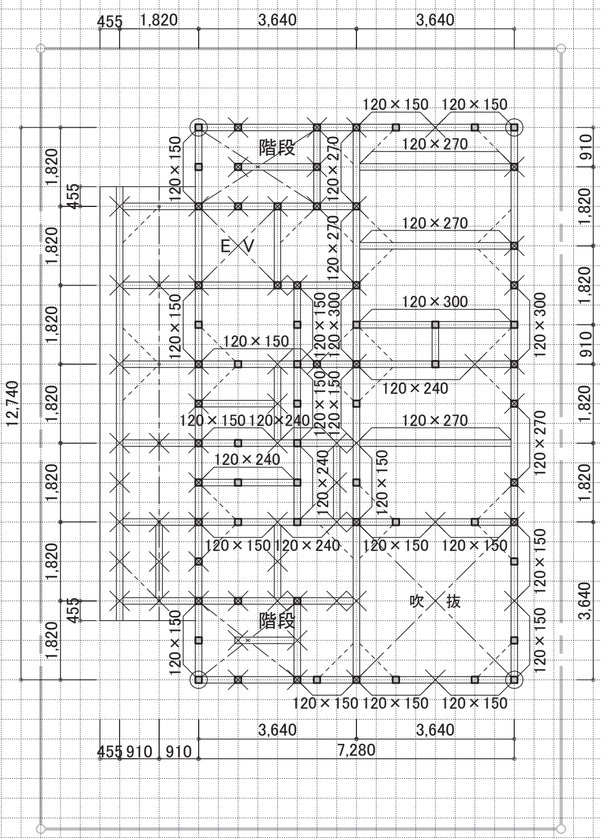
2階平面図　縮尺 1／100 （目盛4.55mm）



3階平面図　縮尺 1／100 （目盛4.55mm）

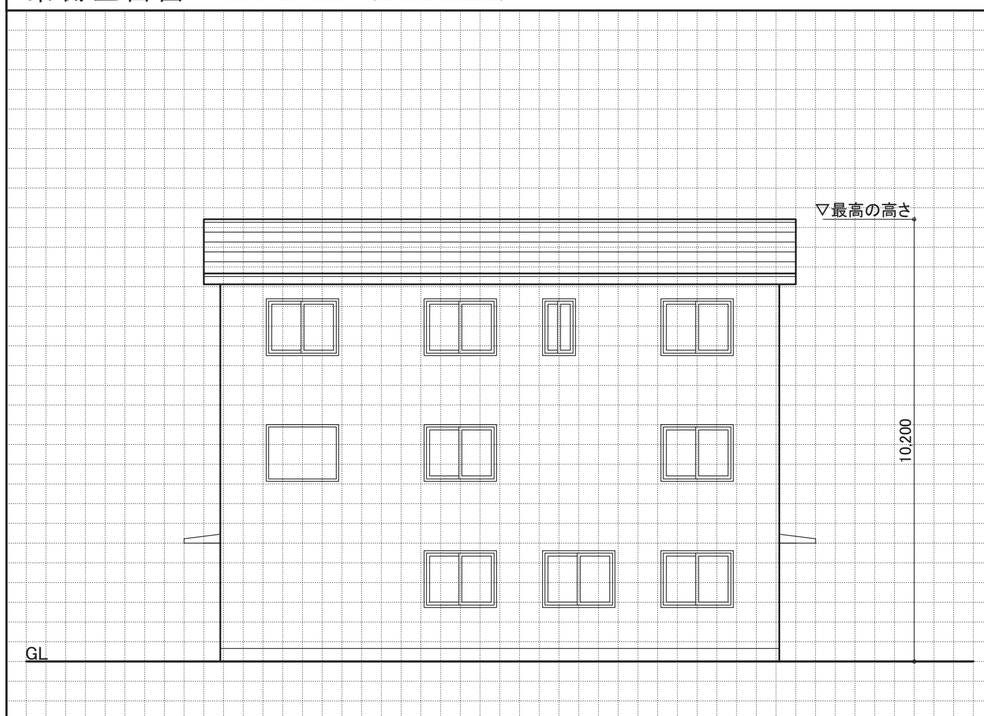


2階床伏図兼1階小屋伏図　縮尺 1／100 （目盛4.55mm）

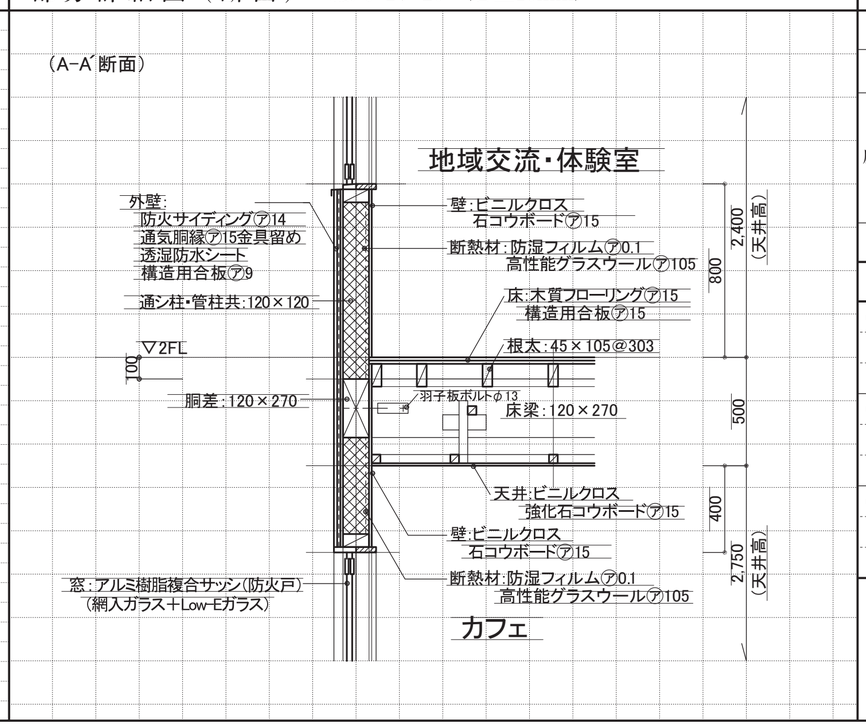


凡例	通し柱	1階の管柱	2階の管柱	1階と2階が重なる管柱	胴差・2階床梁・桁・小屋梁			火打梁	棟木・小屋束	母屋・小屋束
表示記号					正角材	平角材	丸太材		小屋束	小屋束
断面寸法の記入欄(mm)	120×120	120×120	120×120		120×120	図中に記入	図中に記入	90×90	棟木 90×90	母屋 90×90

東側立面図　縮尺 1／100 （目盛4.55mm）



部分詳細図（断面）　縮尺 1／20 （目盛10mm）



面積表

敷地面積			216.00 ㎡
建築面積		(計算式) 7.28×12.74+1.82×9.10=109.309	109.30 ㎡
床面積	1階	(計算式) 7.28×12.74+1.82×9.10=109.309	㋐ 109.30 ㎡
	2階	(計算式) 7.28×12.74−3.64×3.64=79.497	㋑ 79.49 ㎡
	3階	(計算式) 7.28×12.74=92.747	㋒ 92.74 ㎡
延べ面積		㋐+㋑+㋒	281.53 ㎡

計画の要点等

①：カフェは、北側と南側の両出入口から通り抜けができるようにし、スムーズな来客動線を確保した。　イベント広場は、商店街に面した南側に配置し、日当たりのよい明るく開放的な空間とした。

②：住宅部分と店舗部分は、明確にゾーニングし、1・2階の共用部より行き来できるようにした。　居間・食事室・台所は、南側全面に配置し、日当たりのよい明るい空間とした。

③：開口部には、断熱性に配慮して、アルミ樹脂複合サッシを採用した。　外壁の断熱材には、省エネルギー性に配慮し、高性能グラスウールを十分な厚みとともに採用した。

〈TAC〉無断複写・複製を禁じます。

6667-6400-1050-17

TAC 建築士講座

〈ＴＡＣ〉無断複写・複製を禁じます。

令和8年 二級建築士設計製図 課題6 問題用紙

設 計 課 題 「商店街に建つ併用住宅(木造３階建て)」

1. 設計条件

ある地方都市の市街地における商店街に、オーナー夫婦が運営を行う店舗併用住宅を計画する。店舗は、パソコン作業等のためのオフィス機能も兼ね備えたラウンジカフェに加え、商店街を訪れるインバウンド層のための地域情報コーナーを設けた計画とする。

計画に当たっては、次の①～④に特に留意する。

①店舗用出入口、住宅玄関はそれぞれ独立して設ける。

②店舗に隣接させた屋外テラスを計画し、地域の交流の場として利用できるようにする。

③店舗部分と住宅部分とは、屋内の１階部分で行き来できるようにする。

④建築物の耐震性に配慮する。

(1) 敷 地

ア．形状、道路との関係、方位等は、右上に示す敷地図のとおりである。

イ．近隣商業地域内にあり、準防火地域に指定されている。

ウ．建蔽率の限度は80％、容積率の限度は200％である。

エ．地形は平坦で、道路及び隣地との高低差はなく、地盤は良好である。

オ．電気、都市ガス、上水道及び公共下水道は完備している。

(2) 構造、階数、建築物の高さ等

ア．木造３階建てとする。

イ．建築物の最高の高さは13m以下、かつ、軒の高さは10m以下とする。

ウ．耐力壁(筋かい等を設けた構造上有効な壁)は、必要な量をバランスよく配置する。

(3) 延べ面積等

ア．延べ面積は、「250㎡以上、300㎡以下」とする。

イ．ピロティ、玄関ポーチ、屋外スロープ、駐車スペース、駐輪スペース等は、床面積に算入しないものとする。

(4) 人員構成等

居住者：オーナー家族４名：夫婦(50歳代)、子ども２名(高校生)

ラウンジカフェ従業員：２名

(5) 要求室等

下表の全ての室等は、指定された設置階に計画する。

部分	設置階	室名等	特記事項
店舗	1階	ラウンジカフェ	ア．床面積は33㎡以上とし、その他に地域情報コーナー(６㎡以上)を計画し、展示棚を設ける。 イ．外部と直接行き来できる出入口を設ける。 ウ．床は土間コンクリート仕上げとする。 エ．テーブル(計６台)及び椅子(計18席)を設ける。 オ．レジカウンターを設ける。
		厨房	ア．床面積は12㎡以上とする。 イ．配膳カウンター、食器棚(計２つ)を設け、ラウンジカフェに軽食を提供できるようにする。
		更衣室	ア．厨房に隣接させる。 イ．机及び椅子(計２席)、ロッカー(２台)を設ける。
		倉庫	・床面積は4.5㎡以上とする。
		洗面室	・床面積は4.5㎡以上とし、来客及び従業員が使用する。
		便所(1)	ア．男女別に設ける。 イ．来客及び従業員が使用する。
住宅	1階	玄関	・下足入れ、式台を設ける。
	2階	居間・食事室・台所	ア．床面積は23㎡以上とし、その他にＰＣルーム(机及び椅子１席)、収納を設ける。 イ．居間にはソファー(計６席)、食事室にはテーブル及び椅子(計４席)を設ける。
		多目的室	ア．床面積は19㎡以上とし、上部に吹抜け(９㎡以上)を設ける。 イ．テーブル及び椅子(計４席)を設ける。 ウ．棚(1,200㎜×300㎜以上)を３つ設ける。
		予備室	ア．床面積は13㎡以上とし、その他に収納(３㎡以上)を設ける。 イ．親戚や知人等の寝室としても使用する。 ウ．ベッド、机及び椅子を設ける。
		家事室	ア．床面積は７㎡以上とし、その他に収納を設ける。 イ．日用品の保管場所として使う。
		洗面室	・床面積は4.5㎡以上とし、その他に収納を設ける。
		便所(2)	
	3階	夫婦寝室	ア．洋室13㎡以上とし、その他に収納を２つ設ける。 イ．ベッド(計２台)、ナイトテーブルを設ける。
		子ども室(1)(2)	ア．洋室９㎡以上とし、その他に収納を設ける。 イ．ベッド、机及び椅子を設ける。
		納戸	・床面積は７㎡以上とする。
		浴室	
		洗面脱衣室	・床面積は4.5㎡以上とし、収納を設ける。
		便所(3)	

(注１)各要求室等において、床面積・広さの指定がない場合、床面積は適宜とする。

(注２)住宅部分の竪穴部分(階段、エレベーターシャフト及び吹抜け)は所定の防火設備を用いて区画する。また、外壁の開口部で延焼のおそれのある部分には所定の防火設備を設ける。なお、この建築物は、「避難上の安全の検証」を行わないものとする。

(6) 階段及びエレベーター

ア．住宅部分には、１階から３階まで通ずる直通階段を設ける。安全を確保するために、蹴上げの寸法を180㎜以下、踏面の寸法を225㎜以上とする。

イ．屋内に住宅用エレベーターを１基設ける。

・エレベーターシャフトは、心々1,820㎜×1,820㎜以上とする。

・駆動装置は、エレベーターシャフト内に納まるものとし、機械室等は設けなくてよい。

・出入口の幅は、内法800㎜以上とする。

(7) 屋外施設等

屋外に下表のものを計画する。

屋外テラス	ア．ラウンジカフェに隣接させ、地域や商店街の人々との交流の場を兼ねる。 イ．面積は19㎡以上とし、テーブル及び椅子(計20席以上)を設ける。
芝生スペース	・面積は10㎡以上とし、日当たりに配慮する。
屋外スロープ	・店舗部分への通路の計画において高低差が生じる場合は、屋外スロープ(勾配は１/12以下)を設ける。
駐車スペース	・１台分(住宅用)を設ける。
駐輪スペース	ア．３台分(住宅用)を設ける。 イ．店舗用は、敷地外の駐輪スペースを利用するものとする。
門・塀・植栽等	

2. 要求図書

a．答案用紙の定められた枠内に、下表の要求図書を記入する。(寸法線は、枠外にはみだして記入してもよい。)

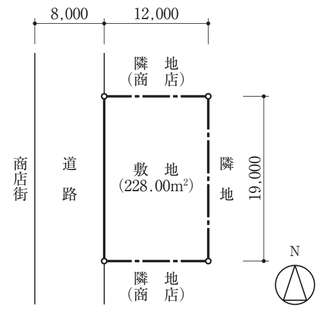
b．図面は黒鉛筆仕上げとする。(定規を用いなくてもよい。)

c．記入寸法の単位は、㎜とする。なお、答案用紙の１目盛は、4.55㎜(部分詳細図(断面)にあっては、10㎜)である。

d．シックハウス対策のための機械換気設備等は、記入しなくてよい。

要求図書( )内は縮尺	特記事項
(1) 1階平面図兼配置図(1/100)	ア．１階平面図兼配置図、２階平面図及び３階平面図には、次のものを記入する。 ・建築物の主要な寸法 ・室名等 ・「通し柱」を○印で囲み、「耐力壁」には△印を付ける。 ・吹抜けの範囲(２階平面図には破線、３階平面図には一点鎖線でその範囲を明記する。) ・延焼のおそれのある部分の範囲(延焼ラインを破線にて明記し、そこから敷地境界線までの距離を記入) ・防火設備が必要な部分に㉓と明記 イ．１階平面図兼配置図には、次のものを記入する。 ・敷地境界線と建築物との距離 ・道路から建築物へのアプローチ、芝生スペース、屋外テラス、屋外スロープ、駐車スペース、駐輪スペース、門、塀、植栽等 ・道路から敷地及び建築物の出入口には、▲印を付ける。 ・玄関ポーチ、玄関の土間部分、玄関ホール(廊下)、ラウンジカフェ、屋外テラスの地盤面からの高さ ・ラウンジカフェ…テーブル、椅子、レジカウンター及び展示棚 ・厨房…配膳カウンター、台所設備機器(流し台、調理台、コンロ台、冷蔵庫等)、食器棚及び手洗い器 ・更衣室…ロッカー、机及び椅子 ・洗面室…洗面台 ・便所(1)…洋式便器及び手洗器 ・玄関…下足入れ、式台 ・部分詳細図(断面)の切断位置及び方向 ウ．２階平面図には、次のものを記入する。 ・居間・食事室・台所…ソファー、テーブル、椅子、台所設備機器(流し台、調理台、コンロ台、冷蔵庫等)、ＰＣルーム(机及び椅子１席)及び収納 ・多目的室…テーブル、椅子及び棚 ・予備室…ベッド、机、椅子及び収納 ・家事室…収納 ・洗面室…洗面台及び収納 ・便所(2)…洋式便器及び手洗器 エ．３階平面図には、次のものを記入する。 ・夫婦寝室…ベッド、ナイトテーブル及び収納 ・子ども室 …ベッド、机、椅子及び収納 ・浴室…浴槽 ・洗面脱衣室…洗面台、洗濯乾燥機及び収納 ・便所(3)…洋式便器及び手洗器
(2) 2階平面図(1/100)	
(3) 3階平面図(1/100)	
(4) 3階床伏図兼2階小屋伏図(1/100)	ア．主要部材(通し柱、２階及び３階の管柱、胴差、３階床梁、桁、小屋梁、火打梁、棟木、母屋、小屋束など必要なもの)については、凡例の表示記号にしたがって記入し、断面寸法(小屋束を除く。)を凡例欄に記入する。ただし、主要部材のうち、平角材又は丸太材としたものについては、その断面寸法を図面上に記入する。なお、根太及び垂木については、記入しなくてよい。 イ．火打梁の代わりに、構造用面材による床組とする場合には、胴差、床梁、桁を記入したうえで構造用合板の厚さ、釘の種類・打ち付け間隔を明記する。 ウ．その他必要に応じて用いた表示記号は、凡例欄に明記する。 エ．建築物の主要な寸法を記入する。
(5) 立面図(1/100)	ア．西側立面図とする。 イ．建築物の最高の高さを記入する。
(6) 部分詳細図(断面)(1/20)	ア．切断位置は、外壁を含む部分とする。 イ．作図の範囲は、基礎及び床の部分(床の仕上面からの高さ600㎜以上)とし、外壁の柱心から1,000㎜以上とする。 ウ．主要部の寸法等を記入する。 エ．主要部材(基礎、土台など必要なもの)の名称・断面寸法を記入する。 オ．アンカーボルト等の名称・寸法を記入する。 カ．外気に接する部分(外壁、その他必要と思われる部分)の断熱・防湿措置を記入する。 キ．主要な部位(床、外壁の屋外側及び屋内側)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。 ク．外壁の仕上げについては、乾式工法によるものとする。
(7) 面積表	ア．建築面積、床面積及び延べ面積を記入する。 イ．建築面積及び床面積については、計算式も記入する。 ウ．面積の数値は、小数点以下第２位までとし、第３位以下は切り捨てる。
(8) 計画の要点等	・建築物等の計画に関する次の①～③について、具体的に記述する。 ①ラウンジカフェの計画について、工夫した点(外構計画含む) ②住宅部分の計画について、工夫した点 ③隣地との延焼防止について、工夫した点

敷地図（縮尺：1/500、単位：mm）

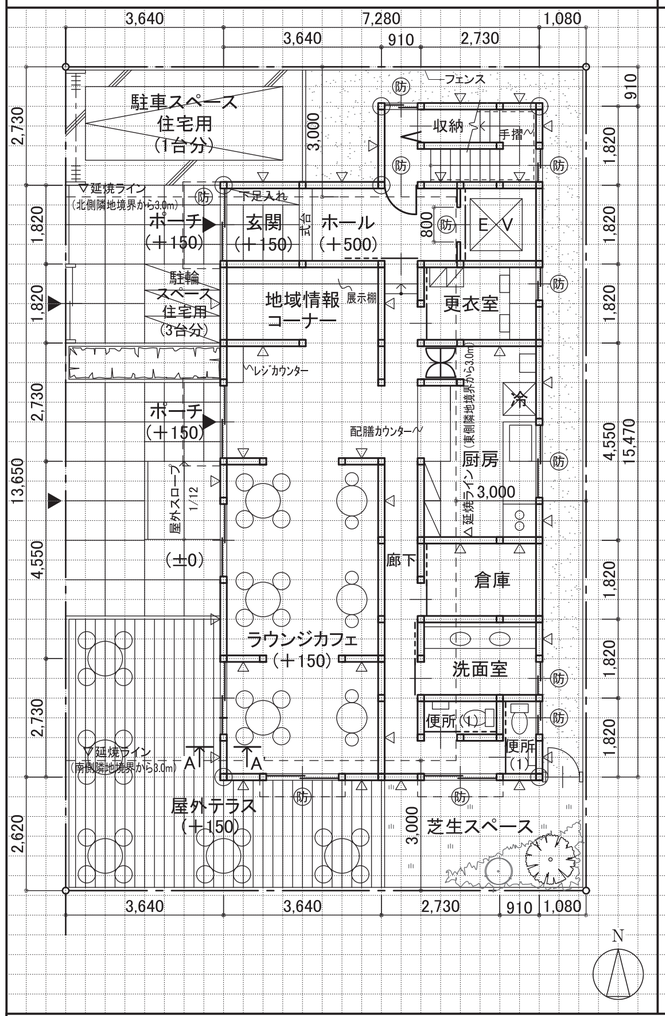


会員番号	
氏 名	
校 名	

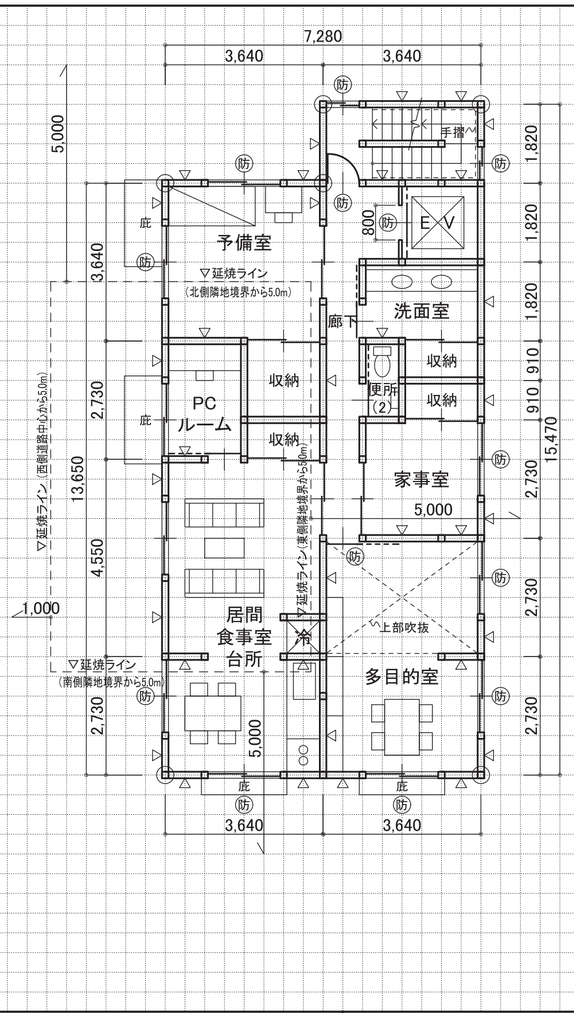
下書欄 (目盛4.55mm)

令和8年 二級建築士設計製図 課題6 答案例

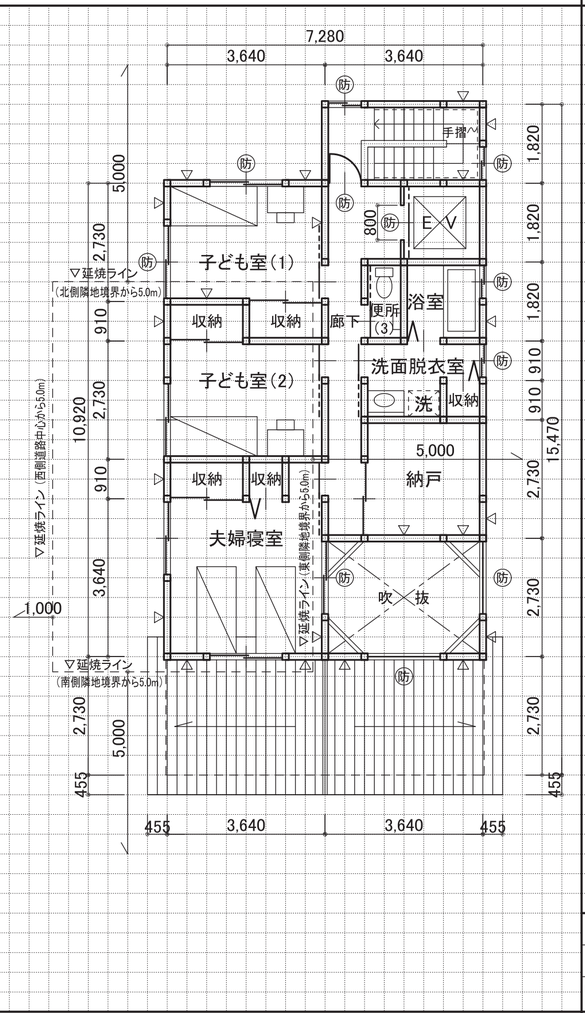
1階平面図兼配置図　縮尺 1／100 （目盛4.55mm）



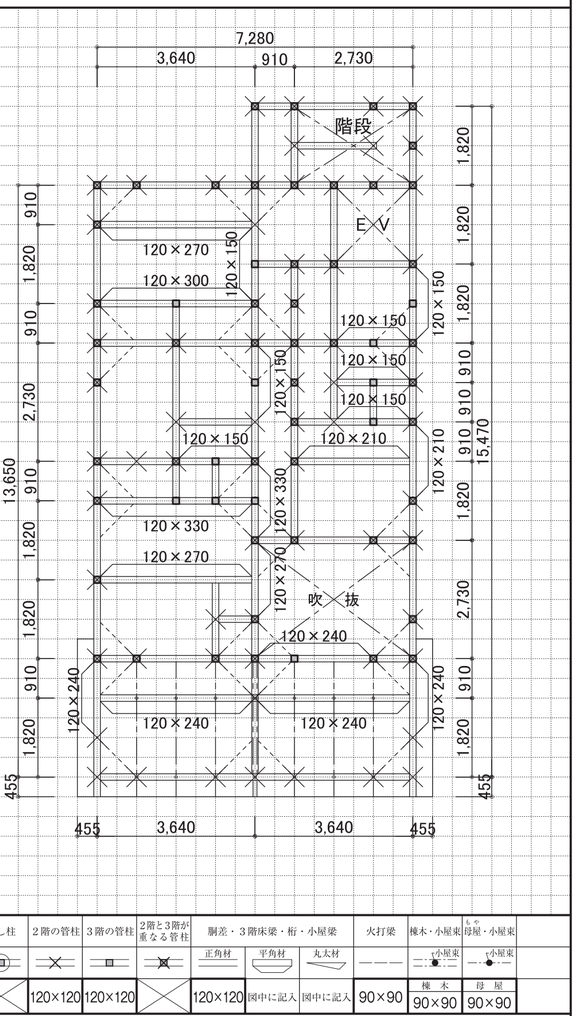
2階平面図　縮尺 1／100 （目盛4.55mm）



3階平面図　縮尺 1／100 （目盛4.55mm）

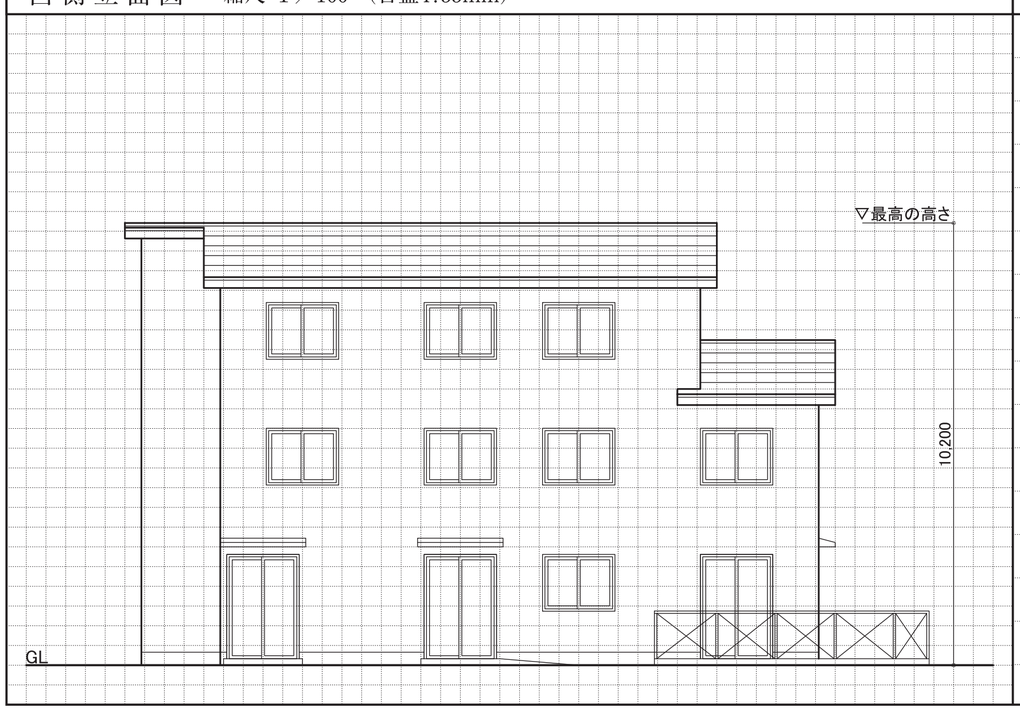


3階床伏図兼2階小屋伏図　縮尺 1／100 （目盛4.55mm）



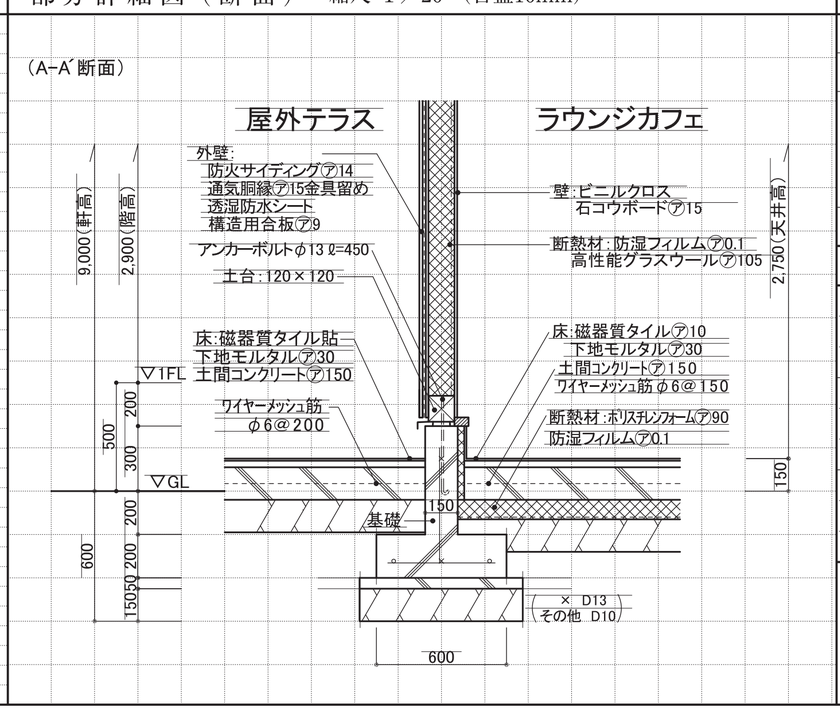
凡例	通し柱	2階の管柱	3階の管柱	2階と3階が重なる管柱	胴差・3階床梁・桁・小屋梁			火打梁	棟木・小屋束	母屋・小屋束
表示記号					正角材	平角材	丸太材		小屋束	小屋束
断面寸法の記入欄(mm)		120×120	120×120		120×120	図中に記入	図中に記入	90×90	棟木 90×90	母屋 90×90

西側立面図　縮尺 1／100 （目盛4.55mm）



部分詳細図（断面）　縮尺 1／20 （目盛10mm）

（A-A´断面）



面積表

敷地面積				228.00 ㎡
建築面積		(計算式) 7.28×15.47−3.64×1.82=105.996		105.99 ㎡
床面積	1階	(計算式) 7.28×15.47−3.64×1.82=105.996	㋐	105.99 ㎡
	2階	(計算式) 7.28×15.47−3.64×1.82=105.996	㋑	105.99 ㎡
	3階	(計算式) 7.28×10.92+3.64×1.82 −3.64×2.73=76.185	㋒	76.18 ㎡
延べ面積		㋐+㋑+㋒		288.16 ㎡

計画の要点等

①：ラウンジカフェは、前面道路の南側に向けて配置し、明るく開放的な空間とした。　屋外テラスは、レベルGL＋150で床全面を磁器質タイル貼り仕上げとし、地域交流の場として利用しやすいように配慮した。

②：玄関へのアプローチは、敷地の北側エリアに計画し、店舗部分と明確に分離した。　住宅部分の主要廊下幅員は、芯々910㎜とし、共用部・諸室及び水廻りゾーンをコンパクトに計画した。

③：延焼のおそれのある部分の開口部は、網入りガラス＋Low - Eガラスによる防火戸とした。　建築物内部の吹抜け・階段及びEVシャフトは、特定防火設備により竪穴区画を形成した。

〈TAC〉無断複写・複製を禁じます。